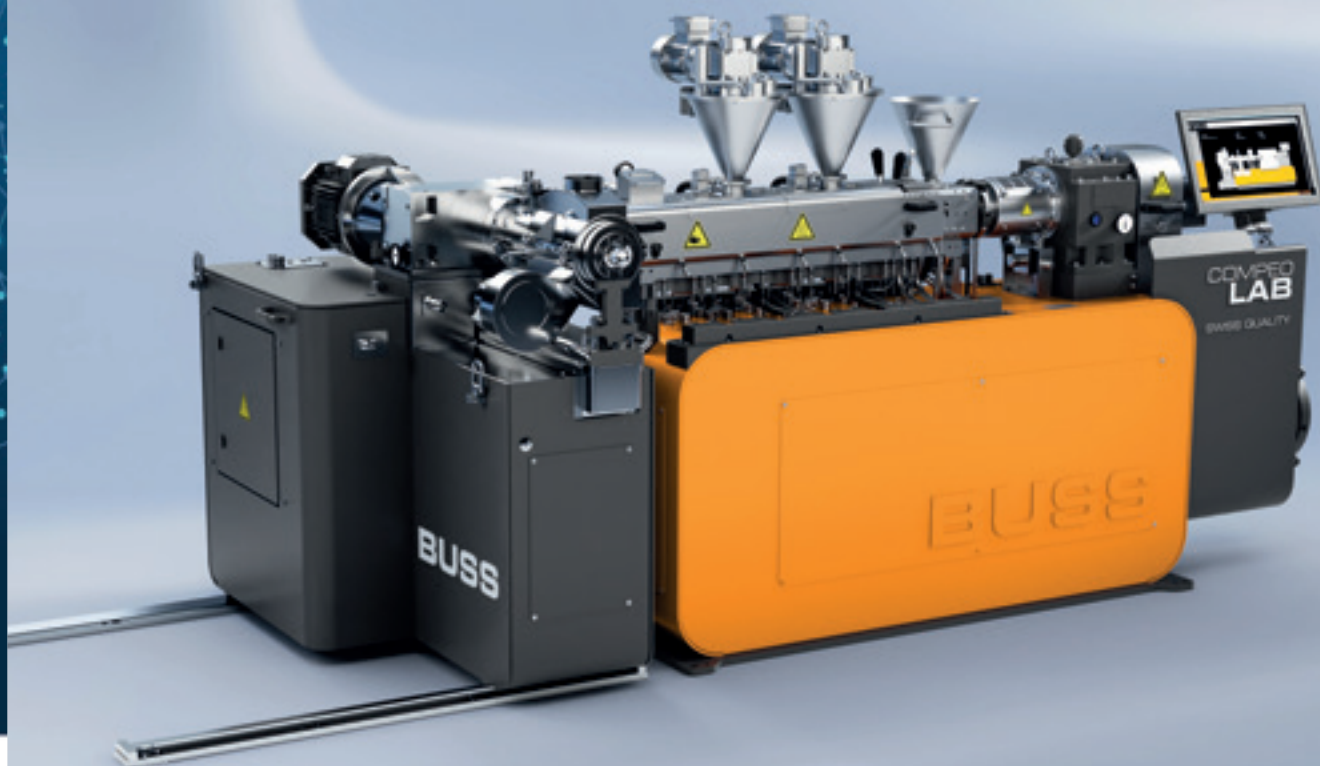


BUSS KNEADER TECHNOLOGY



テスト用混練機COMPEO LAB

COMPEO LABは製品開発やプロセスの最適化、少量生産に適した柔軟性の高いテストおよび試作用混練機です。せん断に敏感な材料から厳しい条件が課されるエンジニアリングプラスチックまで、幅広い用途に適しています。このユーザーフレンドリーなテスト用混練機は吐出量が50～100kg/hで、COMPEOシリーズの中で最も小型の製品になります。COMPEO LABは3枚羽根と4枚羽根のスクリーエメントを組み合わせることができ、全く新しいプロセスエンジニアリングの可能性を切り開きます。熱媒体による温度制御されたスクリーシャフトも備え、生産レベルへの信頼性の高いスケールアップを可能にします。



BUSS

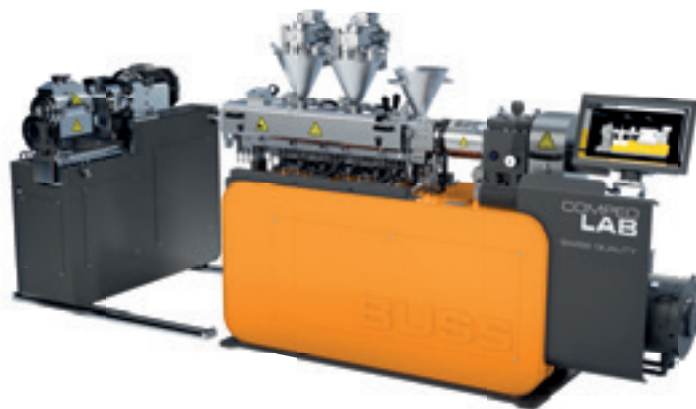
excellence in compounding

機能の特長と具体的なメリット

- ✓ 吐出量50~100 kg/h
- ✓ 開閉式バレルによるプロセスゾーンへのアクセス性
- ✓ 2、3、4枚羽根スクリーエメントの自由な組合せ
- ✓ 緻密な温度制御
- ✓ スクリューシャフト温度制御(熱媒体)
- ✓ 直感的なHMIタッチパネル
- ✓ タッチパネルによる直感的な操作
- ✓ プロセスを最適化するための様々なオプション

オプション

- ✓ サイドフィーダー
- ✓ スクリュー付きトップフィーダー
- ✓ ギアポンプ
- ✓ フィルターメッシュ
- ✓ 液剤投入装置
- ✓ エア/水中造粒機
- ✓ スtrand造粒機



テクニカルデータ

ニーダー

スクリー有効長	25 L/D
スクリー径	45.5 mm
スクリー回転速度	最大 600 rpm
駆動電動機出力	27.5 kW
吐出量範囲	50~100kg/h

インレットホッパー

容量	4 L
材料投入口(及び脱気口)	2

インレットスクリー

容量	4 L
回転速度(オプションでインバーター)	140 rpm
駆動電動機出力	各 0.37 kW

押出ユニット

スクリー径	70 mm
プロセス有効長	6 L/D
駆動電動機出力	5.5 kW

熱媒体

低温(200℃まで)	水
中温(300℃まで)	油
高温(400℃まで)	電気

